



岸連合自治会・岸地区福祉協議会
〒258-0112 足柄上郡山北町岸2061

発行責任者 田淵 康男
編集責任者 渡辺 充

「岩留瀬」の成り立ち



今回のタイトルを見て「岩流瀬（がらぜ）」の間違いではないか、と思われた方が多いのではないのでしょうか。現在では内山へ向かう橋は「岩流瀬橋」であり、バス停は「がら瀬」となっています。

ところが明治時代の初期に編纂された《皇国地誌・村誌（川村岸）》には「岩留瀬（がるぜ）」と標記されています。これは江戸時代の後期に編纂された新篇相模国風土記稿を元にして記載しているので、かなり古い時代から「岩留瀬（がるぜ）」と呼んでいたものと考えられます。

酒匂川（江戸時代は鞠子川）は全長が45km程と比較的短い川ですが、上流域から扇状地の入口となる大口橋（おおくちばし）辺りまでの高低差が大きいため、下流域までも含め「暴れ川」として住民を幾度となく苦しめてきました。

酒匂川の本流とされる鮎沢川も御殿場周辺から「谷ヶ（やが）」地区までの傾斜がきついことは、明治22年に東海道本線が開通した際、列車の後尾にも機関車をつけないければ御殿場まで登り切れなかったことから計り知ることができます。

更に「谷ヶ」と「大口橋」までは直線距離で6km程ですが、標高差が100m近くもあります。これだけの高低差があると、大雨が降れば激流となり岩や大きな石も流され、傾斜が緩くなった大口周辺で「岩が留まる」こととなります。そのためこの地域を「岩留瀬」と呼び、いつの間にか「岩流瀬」に変化したものと考えられます。



もう一つ長い時代の中で地名が変わったと思われる例を紹介します。同じ《皇国地誌》の中に用水として「肥地堰（こへぢせき）」が記載されています。

八幡神社横から県道の下を潜り、越地地区に流れる用水です。言うことは昔は「越地」ではなく「肥地（こへぢ）」と呼んでいた時期があったのかも知れません。

単なる誤記ということも考えられますが…。誤記の例としては向原地区の「尺里（ひさり）」が該当します。元は「久里」であった地名を幕末の天保期に小田原藩が書き間違え、そのまま現在に至っています。

《参考文献 足柄乃文化 第35号、他》

八幡神社例大祭開催

4月5日(日) 岸八幡神社の例大祭が開催されました。好天に恵まれる中、社殿において神事がとり行われ、担ぎ手の若々しい掛け声とともに神輿の渡御が厳かに開始されました。

また、昨年に続き花車の運行も行われ、賑やかな川村囃子の音と子供たちの元気な声が町内に響きました。

各自治会の駐輦所(ちゅうれんじょ)では心づくしの接待が行われ住民同士の交流も行われました。今年も熱気あふれる例大祭となりました。



文命祭開催

五月晴れの5月5日(祝)、恒例の文命祭が岩流瀬文命宮で執り行われました。

当日は初夏を思わせる陽気の中、関係者の皆様、賛助会員企業など多数のご臨席を賜り厳かに式典が行われました。

直会(なおらい)では、文命碑建立300年ということで田淵会長からスライドを用いて文命堤の説明があり、参加の皆さんが熱心に耳を傾けていました。



自治会活動の紹介・南原

南原自治会は酒匂川北岸の一段高い台地の南端に位置しており、足柄平野から相模灘が一望にできる地域にあります。高台にあり、災害が少ないことから古墳時代から集落があったと考えられています。

66戸と小規模な自治会ですが、八幡神社の例大祭やクリーンキャンペーン、どんど焼きなどでは住民が総出で協力して地域を盛り上げています。



例大祭が終わってほっと一息



八幡神社例大祭接待会場（2026年）



クリーンキャンペーン（2025年）



どんど焼き（2025年）



越地

せぎさらいが行われました

4月12日、川村用水のせぎさらいが湯坂・越地・南原の各自治会で行われました。

川村用水は、水不足に悩んだ先人が地域に水路を作り水利を確保したものです。現在は上下水道の普及により不便さは感じませんが、年に一度のせぎさらいで水路を整えるとともに、先人の地域への思いを感じ取る行事となっています。



湯坂



南原

災害時の備え、大丈夫ですか？

自宅のトイレを使っています。しかし、断水してしまうと流すことができません。便器は壊れていませんが、流せなくなってしまう。そこで「災害用トイレ」を必ず備蓄しておく必要があります。

なお、排使用袋は臭いが漏れてしまうモノもありますから、自宅保管の災害用トイレはカレー粉やニンニク等で臭い洩れの実験しておいてください。少なくとも家族の2週間分は備蓄しましょう。

地震や風水害などの災害の時に困るのが「トイレ」です。災害の時でも排泄欲求は止まりません。

皆さんは、普段は何気なくご



©KAMIKURA

カメラ散策

春のやわらかな日差しに誘われて、岸地区内をゆっくり歩いてみると、あちらこちらで桜が見頃を迎えていました。県道74号線（岩流瀬付近）、ぐみの木近隣公園、ロジ・ウイン湘南物流センター敷地内で淡いピンクの花びらが風に揺れていました。



令和8年5月下旬から気象の警報などが大きく変わりました。

今年5月下旬から気象の警報などが大きく変わりました。

警報・注意報の情報に「レベル」が加えられます。例えば「大雨」の警報で「レベル4・大雨危険警報」の場合には「避難が必要な状況」、「レベル5・大雨特別警報」の場合には「緊急安全確保を行う状況」ということになります。

ご自宅周辺の地形を確認し、河川氾濫や土砂災害の危険がある場合の避難先・避難ルートの検討や緊急時に安全確保で災害をしのぐ部屋（例・土砂災害なら山と反対の部屋）の確認を行っておきましょう。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5	緊急安全確保	命の危険・直ちに安全確保	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
4	避難指示	危険な場所から全員避難	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動を確認する	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	早期注意情報	災害への心構えを高める	(気象情報等に注意)			

お知らせ・今後の予定

- ◆ 6月20日… いきいきセンター大掃除・防火訓練
- ◆ 8月 1日… 文命祭300年記念
岸納涼花火大会
- ◆ 9月 …… 防災訓練
- ◆ 9月26日… 河村城祭
- ◆ 10月22日… 敬老茶話会

編集後記

本号から岸広報も新しい体制になりました。新体制と同時に八幡神社例大祭、せぎさらい、文命祭と行事が続き取材も大変でしたが、何とか皆様にお届けすることができました。

今年も地域の様々な表情を皆さんにお伝えしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

広報部一同